

静岡県車連ニュース 2006年11月号 No.42

発行 / 静岡県自転車競技連盟

発行人 / 大橋正己

編集人 / 山本和中 松村友子

編集事務局 / 静岡県自転車競技連盟事務局

〒421-3301 庵原郡富士川町北松野620-2 (有) 有開内 松村正之方

TEL・FAX : 0545-85-3128 E-mail : ariake@thn.ne.jp

2006全日本チーム対抗自転車競技大会

晴天の中、11月3日(金・祝)日本サイクルスポーツセンター250m競技場において、「2006全日本チーム対抗自転車競技大会」が行われました。昨年は、寒気が迫っておりバンクの凍結の心配や雨のため開始時間の変更等がありましたが、今年は天候にも恵まれ成功裏に終了することができました。この大会は250mバンクで行われるJCF公認の唯一の大会です。昨年は第1回目、そして国体終了直後ということで参加チームが4チームと少なかったことは致し方なかったと思いますが、今回もチームとして参加したのは、わずか5チームでした。各地域にはいろいろな事情があるのは重々承知しておりますが、250mバンクでチーム・スプリント、4km団体追抜競走をおこなうことは選手にとって、大切なことだと感じます。世界的には250mバンクが主流ですが、国内では日本サイクルスポーツセンターにしかありません。将来、国際的な選手になるためには良い経験になるのではないのでしょうか?来年はぜひ静岡県チームが参加できるよう県内選手の頑張りに期待します。

また、小・中学生についても250mタイム・トライアル、500mタイム・トライアルを行い、最年少7歳からの参加がありました。ジュニアの選手育成についても、早いうちから250mバンクになれることの必要性を感じます。また、各チームのスピード感溢れる走りを見ることも大変有意義なことと思います。今年は女子の参加がなかったことも残念に思っております。

来年は、各都道府県車連、各団体のご協力をいただき、大勢の方が参加していただけるような大会になることを切に願っております。

最後に、大会開催にあたり関係団体、関係各位のご協力とご支援に感謝しております。(理事長 松村 正之)

大会結果

チーム・スプリント	1位	学連チーム	49秒463
4km団体追抜競走	1位	中部チーム	4分35秒636
1kmタイム・トライアル	1位	佐藤博紀(学連・日本大学)	1分08秒549
250mタイム・トライアル	1位	雨谷一樹(高体連・作新学院高校)	18秒827
500mタイム・トライアル(中学生)		池田圭汰(伊東市立中・1年)	41秒960
		黒瀬壮馬(長岡中・1年)	44秒982
		御園井利穂(興誠中・1年)	53秒761
250mタイム・トライアル(中学生)		池田圭汰(伊東市立中・1年)	23秒590
		黒瀬壮馬(長岡中・1年)	26秒434
		御園井利穂(興誠中・1年)	30秒330
250mタイム・トライアル(小学生)		鈴木康平(吉原小・6年)	27秒165
		鈴木奈央(吉原小・4年)	32秒228
		黒瀬俊矢(長岡南小・1年)	40秒726

静岡県民スポーツ祭について

静岡県民スポーツ祭の改革について

現在おこなわれている静岡県民スポーツ祭について、時代の変遷とともにスポーツを取り巻く環境にも変化が見られ、当初の「権威ある競技スポーツ大会」を主旨としていたが、近年の実施要項は「多くの県民がスポーツの祭典に集い、交流を深めつつ健康・体力向上、地域の活性化を目指し、スポーツの普及奨励を図る」とあり、競技スポーツ大会なのか生涯スポーツ大会なのか中途半端なものとなっているということで、2年ほど前より静岡県体育協会では検討委員会を立ち上げ検討してきました。そして、平成18年度第60回大会を最後に、来年からは「誰でも・いつでも・どこでも」という生涯スポーツとしての大会として形を変えての開催となります。

(静岡県体育協会)

ここ数年、自転車競技ではロード・レースをおこなってきましたが、今回はトラック・レースを実施します。静岡県民スポーツ祭は第60回大会で最後となります。静岡競輪場は久々に場外開催がありません。県内の選手皆さん、冬の真っ只中ではありますが、1日トラック競技を楽しみませんか？応援の方もスタンド席でゆったりと応援してください。多くの皆さんの参加をお待ちしています。競輪場は正門から入場できます。

実施要項は下記のとおりとなりますが、参加人数により内容が変更になる場合もありますのでご了承ください。不明な点は事務局までご連絡ください。



平成18年度 第60回 静岡県民スポーツ祭 自転車競技大会 実施要項

1. 主 旨 明るく心豊かな県民生活の実現に向けて、多くの県民がスポーツの祭典に集い交流を深めつつ健康・体力向上、地域の活性化を目指し、スポーツの普及奨励を図る。
2. 主 催 (財)静岡県体育協会・静岡県・静岡県教育委員会・静岡市・静岡市体育協会
静岡市教育委員会
3. 主 管 静岡県自転車競技連盟・(財)静岡県体育協会中部地域連絡協議会
4. 期 日 平成19年1月21日(日)
5. 会 場 静岡競輪場
〒422-8021 静岡県静岡市小鹿2丁目9番1号
6. 競技種目
 - 【トラックレーサー部門】
 - 400mタイム・トライアル(成年の部C・D 少年の部B・C)
 - 1kmタイム・トライアル(各種別)
 - スプリント(各種別上位2名での決勝、3~5位順位決定戦)
 - ケイリン(成年A・B・C・D 少年A)
 - 16kmポイント・レース(上級者クラス)
 - 10kmポイント・レース(普及クラス)
 - 【ロードレーサー部門】
 - 400mタイム・トライアル(成年の部C・D 少年の部B・C)
 - 1kmタイム・トライアル(各種別)

※1人2種目まで(少年B・Cはタイム・トライアルのみ)

7. 種別 ①成年の部 A(19～39歳) B(40～59歳) C(60歳以上) D(女子)
②少年の部 A(高校生) B(中学生) C(小学生)
8. 競技日程 7:00～8:30 練習
8:00～8:30 受付
8:45 開会式
9:00～12:00 スプリント予選
400mタイム・トライアル
1kmタイム・トライアル
(トレックレーサー、ロードレーサー)
13:00～ スプリント
ケイリン
ポイント・レース
16:00～ 表彰式・閉会式
9. 競技規則 (財)日本自転車競技連盟2006年度版「競技規則」と大会特別規則により実施する。
10. 表彰 各種目とも1位～3位までの競技者に賞状を授与する。
ただし少年Cについては男女別表彰とする。
11. 参加資格 県内に居住・勤務・在学する小学生以上の者とする。
12. 申込方法 平成18年12月21日までに申込用紙に必要事項を記入の上、参加料を添えて下記まで現金書留にて申し込むこと。
〒421-3301 静岡県庵原郡富士川町北松野620-2 松村正之方
静岡県自転車競技連盟事務局 TEL 0545-85-3128
13. 参加料 成年1,000円、少年A800円、少年B・C600円
14. その他
- ① 競技中の事故について応急処置は行なうが、その後の処置は参加者本人の責任とする。
 - ② スポーツ傷害保険は必ず各自加入し健康保険証を持参すること。
 - ③ 参加者はJCF公認ヘルメット(シール付)の装着を義務付ける。
ただし、小学生の場合は保護者の責任において、未公認ヘルメットでも出走を認める。
 - ④ 検車は行わないが、日本自転車競技連盟の競技規則集に合致したトラック・レーサーおよびロード・レーサーで参加のこと。
大会前にサイクルショップにて点検を受けること。
大会当日、整備不良の場合は出走を取り消すことがある。
 - ⑤ 走路保護のため、走路内はレーサーシューズでの歩行は禁止のため運動靴を持参のこと。
 - ⑥ 参加人数によってはプログラムに変更がある。
 - ⑦ ゴミは各自持ち帰ること。

静岡県民スポーツ祭 自転車競技大会競技役員募集のお知らせ

会場 静岡競輪場
期日 平成19年1月21日(日) 《雨天決行》
集合 7:45
申込締切 平成18年12月21日(木) 事務局まで



平成18年度静岡県高等学校体育連盟自転車競技新人大会 結果

トラック競技 平成18年11月5日(日) 静岡競輪場

1kmタイムトライアル

- 1位 田中 雅士(修工) 1分11秒14
- 2位 石田 輝(興誠) 1分13秒14
- 3位 稲葉 一真(星陵) 1分13秒51

スプリント

- 1位 田中 雅士(修工)
- 2位 加藤 道弘(興誠)
- 3位 片山 裕斗(静北)

ケイリン

- 1位 坂本 圭宏(静北)
- 2位 山川 由馬(修工)
- 3位 加藤 道弘(興誠)

スクラッチ

- 1位 本間 義仁(修工)
- 2位 池本 昇平(興誠)
- 3位 原 悠二(静北)

16kmポイント・レース

- 1位 望月 諒真(静北) 35点
- 2位 新井 雄揮(修工) 11点
- 3位 高村明日香(興誠) 10点

3kmインデペンデント・タイム・レース

- 1位 石田 輝(興誠) 3分53秒88
- 2位 望月 諒真(静北) 4分01秒87
- 3位 高村明日香(興誠) 4分05秒63

ロード競技 平成18年11月25日(土) 日本サイクルスポーツセンター5kmサーキット6周回

- 1位 石田 輝(興誠) 59分05秒
- 2位 望月 諒真(静北) 59分05秒
- 3位 本間 義仁(修工) 59分05秒

事務局より

今年も主な大会がすべて終了しました。選手の皆さん、今年はどうな一年でしたか？悔しい思いをした選手も多いと思います。その思いをバネに、来年は、思いっきりやれることはやっとなと笑えるように頑張ってください。また、審判員の方もお疲れ様でした。各団体より派遣依頼が多く大変忙しい年でした。貴重なお休みの日、ご協力ありがとうございました。

編集後記

10月17日～19日、日本CSCにおいて、TVドラマ「自転車少年記」の撮影がおこなわれました。県内選手も数名エキストラで参加しました。11月23日(木・祝)の放送を期待して観ましたが、う～む……。主役の関ジャニ、できればもう少しカッコいい走りをしてほしかった。走りでは、エキストラで出演したみんなの方がずっとカッコいいです。(見つけるのが大変なくらい少ししか映っていないのが残念！)でも、自転車が取り上げられるのはうれしいです。(松村友子)

